

# 当院でのリフィル処方箋導入状況と 患者への安全性・医療者への負担軽減に関する調査

京都府立医科大学附属病院薬剤部では、リフィル処方せんが発行された患者さんを対象に、リフィル処方せんの導入状況、有効性、安全性を調べる臨床研究を実施しています。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

## 研究の目的

リフィル処方せんは、医師が患者の症状が安定していると判断した場合に発行できる、繰り返し使用可能な処方せんです。リフィル処方せんの発行によって、患者は医療機関を受診することなくお薬を調剤してもらえらるほか、医療機関の負担軽減にもつながるとされています。一方で、受診間隔が伸びることによって副作用の発見が遅れてしまう可能性も指摘されています。

この研究は、当院における、リフィル処方せんの発行状況や、発行された患者の受診回数などを調べることで、リフィル処方箋の有効性や安全性を評価することを目的としています。この研究の結果は、リフィル処方せんの普及や安全性の向上につながることが期待されます。

## 研究の方法

### ・対象となる方について

2022年7月26日から2023年3月31日までの間に、当院外来においてリフィル処方せんを発行された18歳以上の方

### ・研究期間

医学倫理審査委員会承認後から2024年12月31日

### ・方法

当院外来においてリフィル処方せんを発行された方の診療録(カルテ)より以下の情報を取得します。また、保険薬局から送られた情報も取得します。リフィル処方箋の発行前後で、外来の受診回数や入院、救急外来の受診回数などを比較します。

### ・研究に用いる試料・情報について

カルテ番号、年齢、性別、体重、病歴、検査値、処方せんの内容、外来受診回数、救急外来受診回数、入院回数、など

## ・個人情報の取り扱いについて

患者さんのカルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究担当者(京都府立医科大学附属病院薬剤部 主任 芝田雄登)の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

## ・試料・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報などは原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都府立医科大学附属病院薬剤部において主任・芝田雄登の下、10年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際の貴重な試料や情報として、前述の保管期間を超えて保管し、新たな研究を行う際の貴重な試料・情報として利用させていただきたいと思います。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

## 研究組織

研究責任者	京都府立医科大学附属病院	薬剤部	薬剤部長	四方敬介
研究担当者	京都府立医科大学附属病院	薬剤部	主任	芝田雄登
	京都府立医科大学附属病院	薬剤部	主任	牧野洸太郎
	京都府立医科大学附属病院	薬剤部	副薬剤部長	小阪直史

## お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

## お問い合わせ先と受付時間

京都府立医科大学附属病院 薬剤部  
主任 芝田雄登(しばたゆうと)  
電話：075-251-5862(受付時間：9-17時)